



ヤマザクラ

2020 年（令和 2 年）5 月 21 日（木）発行

巻頭言

理事長 木田章一

ろうきん森の学校 15 周年記念イベントに参加して

2 月 16 日（日）、アーツ千代田 3 3 3 1（東京都千代田区）において、「ろうきん森の学校 15 周年記念イベント」が開催され、松崎副理事長と参加してきましたので報告します。「自分として生きる」というテーマについて、4 人のゲストによるトーク&セッションでは、最初に、「自分として生きること」・「森のそばでの暮らし」に関して、島根県海女町でさとのば大学を立ち上げた信岡良亮氏と、山形県鶴岡市で“小さなソーシャルビジネス”ナリワイ企業を普及している伊東敬子氏から、“好き”を仕事にしたり、小さな生業を複数持ったり、地域での実践的な学びの場を創った経験などの話を聞きましたが、二人は専門分野もフィールドも異なるが、森のそばで暮らし創っていることは共通していました。

次に、ろうきん森の学校岐阜地区の小野敦氏と、富士山地区の松尾章史氏より「各々の仕事を通じた生き方についての体験談」の話を聞きました。

続いて、“えんたくん”を使ったグループワークを行いました。“えんたくん”とは直径 1 メートルほどの丸い段ボールで、参加者は 5, 6 名のグループに分かれて“えんたくん”を膝の上のせて円卓を作りました。つまり、自分たちの足がテーブルの脚になるのですが、初めて見たとき準備にテーブルが必要なく感心しました。次に“えんたくん”に模造紙を乗せグループワークが始まりました。

参加者は、「ゲストの気になるコメント」や「自分として生きるとはどういうことか」、「自分は自分として生きているか」等について、各自の意見を自由にマジックペンで書きながらディスカッションを進めていきます。“えんたくん”効果もあってか、どのグループも真剣に話し合いがなされ、大いに盛り上がりました。

ろうきん森の学校も I 期 10 年が過ぎ、II 期 10 年の内 5 年が経ちました。残り 5 年で持続可能な森との共生、市民の森づくり、人材育成等を目指してまいります。

なお、新型コロナウイルスの影響で、4 月 9 日に予定しておりましたろうきん森の学校全国事務局会議が中止となりました。

※湯の岳山荘も市からの指示で 4 月 6 日から休荘となりましたが、我々の通常の活動で研修室、森の工房等を使用することは、これまでどおりできますので安心ください。

会員の皆さんには、まだまだ長期化する新型コロナウイルス、密閉、密集、密接の三つの密に気をつけながら、無理をしない範囲で、これまでどおりの活動を継続してもらえればと思っています。

【森林整備班】

1 定例活動

今期の活動は、不用木の除伐および伐木処理、古くなった石窯の解体と新しい石窯作りそれに古くなった炭窯の跡地に新たにドラム缶窯作りを行いました。

(R2.1.4~3.31)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
1/4	土	晴	栗園跡地除伐	4
8	水	小雨	伐木処理	2
15	水	曇	〃	3
18	土	曇	〃	5
22	水	晴	ホダ木作り	5
2/1	土	晴	ドラム缶窯作り	4
5	水	晴	旧石窯解体作業	6
12	水	晴	〃 ・ 伐木処理	7
15	土	曇	〃 ・ 〃	7
19	水	晴	伐木処理	4
26	水	曇	薪割り作業・薪移動	6
3/4	水	曇	山荘北側のササ刈	4
7	土	晴	山荘溜池の不用木除伐	4
11	水	晴	〃	6
18	水	晴	新石窯作り・ドラム缶窯作り	5
21	土	晴	ドラム缶窯作り	4
25	水	晴	〃 ・ 伐木処理	5
計				81

2 定例整備日以外の活動

(1) 2月25日~3月5日の10日間、国際ワークキャンプの参加者に対して森林整備の指導を行いました。

(2) ドラム缶窯・石窯作り、スギ苗作業

3 海岸林整備作業

海岸林整備活動は次のとおりです。

(R1.10.1~12.28)

月/日	曜日	作業の内容	会員・未来基地	ボランティア	計
1/18	土	下刈り、植樹	2	8	10
2/24	月	下刈り	2	8	10
		計	4	16	20

(松崎記)

【農業班】

1. 落ち葉堆肥作りの作業

畑で使用する落ち葉堆肥作りのため、落ち葉かきを昨年末から今年の2月にかけて計4回行いました。(軽トラ4台)

そして、畑内の木枠に落ち葉や米ぬかなど入れて踏み込み、堆肥作りをしました。



2. 国際ワークキャンプのボライティア、農作業体験

3月2日（月）に8名のボライティア（東南アジアの学生中心）が来場し農作業を行いました。当日は霧雨模様の天気でしたが、落ち葉堆肥作りや長ネギの種まきなどの作業を実施することが出来ました。

小雨が降り出したため、少し早めに終了としました。



ネギの種まき

3月2日



落ち葉堆肥作り作業中

3月2日

3. のらぼう菜、つぼみ菜、あぶら菜の収穫

昨年種まきして育てていた、アブラナ科ののらぼう菜、つぼみ菜、あぶら菜など春先のトウ立ち菜を利用する野菜を収穫しました。

カラシ菜や市販の菜の花にくらべて苦みやクセがなく、味の良い野菜です。

4. その他

- 1) 例年通り、畑の寒起こしを1月から2月にかけて行いました（計5回）。
- 2) さつま芋の苗を作るための温床を2月4日に作り、11日に種芋を伏せました。今回は3品種のさつま芋の苗を作ります。 * 3月5日に発芽を確認しました。
- 3) じゃが芋の種芋植え付けを3月16日に行いました（男爵、メークイン、マチルダ）。
- 4) 昨年9月に種まきしたタマネギの苗が、11月の定植時に小さかったため今年の2月10日に定植しました。
- 5) イノシシ避けフェンス（トタン囲いの部分）が強風で一部倒壊したので杭で補修しました。

【プログラム班】

1 学校等の支援活動

今期は1月に4回、2月に1回合わせて5回の支援を行いました。
その一覧は、下表のとおりです。

(1) 学校等における学習支援活動(1/4~3/31)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	1月23日(木)	平六小	3	総合学習	45	11
2	1月24日(金)	高坂幼稚園		木工クラフト	79	5
3	1月27日(月)	湯本第一幼稚園		木工クラフト	24	4
4	1月30日(木)	中央台北小	4	総合学習	45	12
5	2月5日(水)	錦東小	3	総合学習	25	6
	計				218	38

その活動のようすは、次の写真のとおりです。



2 その他の活動

PG 班自主研修

- ・ 草木染研修 1月12日(日)、1月14日(火)、2月7日(金)
参加者 延 15名
- ・ 自然観察会 2月20日(木) 21世紀の森冒険ゾーンと四季の森
2月27日(木) 五安のため池
3月26日(木) 勿来の関公園
参加者 延 30名



(佐藤 烈記)

【ろうきん森の学校】

1 令和2年1月19日(日) (天候・晴)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③木工クラフト (子供対象)

(2) 参加者数 46名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「冬芽とロゼットを探してみよう」とのテーマで、大人と子供中心の2班で実施しました。戻ってから餅つきと団子差しの体験を行いました。木工クラフトでは木のペンダントを作りました。昼食は搗いた餅を、きな粉やあんこ、大根おろしなど好みの味でおいしく食べました。



2 令和2年2月16日(日) (天候・雨時々曇り)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト (子供対象)

(2) 参加者数 30名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「冬枯れの森を歩こう」とのテーマで、大人の班は山荘周辺を、親子班は栗園跡地コースを歩きました。体験活動では森の手入れを予定していましたが、雨のため中止し、子供中心に大鋸で丸太切りの体験をしました。木工クラフトでは、ぶんぶんコマを作りました。



3 令和2年3月15日(日) (天候・晴)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト(子供対象)

(2) 参加者数 27名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「早春の野草を探そう」というテーマで、大人班、親子班の2班で実施しました。オオイヌノフグリ、シュンランそれにウグイスカグラなどの早春の花を見つけました。その後コナラの櫓木にシイタケ菌を植えました。木工クラフトでは、木の実ストラップを作りました。



(佐藤 烈記)

石窯とドラム缶窯を作りました

石窯

約15年前に製作した石窯が老朽化したことに伴い、新しく石窯を製作しました。

新しい石窯は、いわき環境研究室が中心になって取り組んでいる自然エネルギー学習施設の一つであるバイオマス利用のものでもあります。

今回製作した窯は二つです。そのうちの一つは団体用のもので、スタッフが使用する追い炊きつきのもので、老化した窯の場所に設置しました。これまでより長時間の利用が可能になります。

もう一つは家族用のもので、山荘利用者のものです。広場東の炊事場の中で、かまどの横に設置しました。



ドラム缶窯

二つあった炭窯のうち古くなった一つを解体し、その跡にドラム缶窯を作りました。

従来のものは窯入れからから窯出しまで、少なくとも2週間近くかかることから、体験学習には不向きだったため窯入れから窯出しまで2日間で作るものを製作しました。宿泊体験学習用に活用が期待できます。



水道管新設により漏水解決！

長年懸案であった漏水問題については、4月3・4日に新たに水道管を敷設したことにより解決しました。

これまでのような水の心配をしないで済むようになりますが、貴重な沢水ですので節水にはご協力くださるようお願いいたします。



国際ワークキャンプ

国際ワークキャンプが2月25日～3月5日までの10日間、8名の参加で実施されました。

メンバー リーダー 日本人 大学生 男性

参加者 日本人 大学生 男性、大学生 女性、ロシア人 男性

カンボジア人 男性、ベトナム人 女性、インドネシア人 大学生 女性

タイ人 大学生 女性

湯ノ岳フィールドを中心に活動しました。2月初旬に大径木伐採を行った後の伐木処理を中心とした作業になりました。本会が行っている諸活動についても体験してもらいました。

今回はリーダーの体験不足もあり、コミュニケーション不足から、小さな怪我を2件発生させてしまいました。(帰り迄には完治)



月 日	天候	午 前	午 後	夜	参 加 者		
					ワークキ ャンプメ ンバー	地元メ ンバー	計
2月25日	曇		3時50分集合	ミーティング	8	1	9
2月26日	曇	薪割り、薪移動	竹除伐、小計木の伐採	地元メンバーとの交流会	9	5	14
2月27日	晴	伐木処理 チップ処理	伐木処理		8	3	11
2月28日	晴	伐木処理	スギ苗作業		8	3	11
2月29日	曇	スギ苗作業 遊び場整備 伐採竹処理	伐採竹・木処理 薪移動		8	3	11
3月1日	晴	フリーデイ			8	2	10
3月2日	雨	農作業体験	木工工作体験		8	3	11
3月3日	晴	伐木処理 チップ処理	伐木処理		8	3	11
3月4日	曇雨	遊び場のササ刈り 遊び場の整備	自然観察会	地元メンバーとの交流会	6	5	11
3月5日	晴	全体の振り返り 清掃			6	2	8

自然エネルギー学習施設の整備

本会の団体会員でもあるいわき環境研究室が市内3ヶ所に自然エネルギーの学習施設を整備しております。その中の一つ湯ノ岳山荘においては約3年間かかりましたが、その整備が完了しました。

場所は湯ノ岳山荘の広場東側と田んぼ跡地です。

太陽光と熱利用・・・太陽光パネル、ソーラークッカー、足湯

風力利用・・・・・・風力発電機

水力利用・・・・・・水車、石臼

バイオマス利用・・・石窯、ドラム缶窯、かまど

山荘内に簡単に解説したパンフレットを用意しましたのでご一読ください。

(発 行) NPO 法人いわきの森に親しむ会
(発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 鈴木小百合
(事 務 局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://iwaki-mori.jimdo.com/

